

A I ガバナンスに関するグローバル・ダイアログ
大西政務官ステートメント（仮訳）

- 日本国政府を代表してステートメントを述べる機会をいただき、大変光栄に存じます
- A I は、様々な社会課題の解決や新たな価値の創出、産業競争力の向上等、我々の社会に大きな恩恵をもたらす可能性があります。一方で、誤情報の拡散、プライバシーや知的財産の侵害、サイバーセキュリティ上の脅威などもあり、高性能 A I の登場により、こうしたリスクは一層複雑化・深刻化しています。
- リスクに対応しつつ、イノベーションを促進し、あらゆる人々がその恩恵を享受していくためには、安全、安心で「信頼できる A I 」エコシステムの構築が必要です。
- 第一に、日本は、「広島 A I プロセス」を立ち上げ、生成 A I 等の高度な A I システムに関する初の国際規範を策定するなど、これまでも国際社会の議論をリードしてきました。
- 今や、グローバル・サウスを含め約 70 の国・地域が、この理念に賛同し、「フレンズ・グループ」として、「信頼できる A I 」の実現に取り組んでいます。
- 第二に、安全、安心で「信頼できる A I 」エコシステムの実現には、信頼に基づいた国際的な協力が肝要です。
- 日本は、グローバル・サウスを含むパートナーと、マルチステークホルダーによる協力を通じて各国の言語や文化の独自性が反映された A I の開発、人材の育成、各国が直面する社会課題に対する A I ソリューションの共創、A I の安全性の確保等の協力を進めており、引き続き、各国・地域の実情に応じた A I エコシステムを共に創り上げていきます。

- 最後に、このグローバル・ダイアログは、そうした取組の間で相乗効果を発揮する絶好の機会です。日本も、その一環として、早期にA I サミットを主催したいと考えています。
- ご静聴、ありがとうございました。

(了)